

中部大学 理学教室

Colloquium

談話会

中部大学理学教室では、教室内外における自然科学研究・教育の最前線を専門外の方にも分かりやすく紹介し、語り合える場を、企画・提供しております。参加は自由です。学生さんをはじめ、学内・学外の多くの皆様のご参加をお待ちしております。

入場無料 !! 特に参加予約等は要りません。初めての方も、まずは雰囲気味わってみませんか?

2009年11月2日 中部大学理学教室

～ 次回(第16回講演)のご案内～

日時: 2009年11月9日(月) 17:00～18:30

場所: 10号館2階 1024教室

テーマ:

ノーベル物理学賞受賞・

小林-益川理論は何を明らかにしたか

話題提供: 中部大学理学教室 教授 堀川 直顕

小林-益川理論は自然の対称性の破れを物質の根源となる素粒子レベルで解き明かした、として2008年度ノーベル物理学賞が2人に授与された。

この理論は3世代6個のクォークを仮定することで素粒子の弱い相互作用に現れるCPの破れを説明し、この宇宙が物質だけで構成されている論拠を与えた事が評価された。ここでは小林-益川理論を素粒子研究の歴史を交えできるだけ平易に解説する。

詳しくは、理学教室ホームページ: <http://pauli.isc.chubu.ac.jp/sci/> から、「コロキウム」のページへGO!

お問い合わせは: 中部大学理学教室 工藤 健 (earth@isc.chubu.ac.jp)